

新学習指導要領における情報モラル教育に向けて

－全ての教員が情報モラルを指導するために－

鳴門教育大学大学院 准教授 藤村 裕一
fujimura@naruto-u.ac.jp

台東区立東泉小学校 校長 佐久間 茂和
s-sakuma@koumu.taitocity.net

千葉学芸高等学校 校長 高橋 邦夫
ktaka@cgh.ed.jp

羽衣学園中学校・高等学校 教諭 米田 謙三
kenzoo@cd5.so-net.ne.jp

キーワード：情報モラル、情報教育、新学習指導要領、携帯電話、学校・保護者・地域連携

1. 文部科学省の情報モラル教育に関する最新施策

(1) 新学習指導要領及び求める「全ての教科等における全ての教員による」情報モラル教育

新学習指導要領では、小学校・中学校・高等学校とも、総則の「指導計画の作成等（教育課程の実施等）に当たって配慮すべき事項」の中で、「各教科（・科目）等の指導に当たっては、児童（生徒）が…＜中略＞…情報モラルを身に付け…＜後略＞…」と記述し、「全ての教科等における全ての教員による情報モラル教育」の実施を求めている。

また、小学校・中学校の道德の「指導に当たっての配慮事項（指導計画の作成と内容の取扱い）」の中で「児童（生徒）の発達の段階や特性等を考慮し、道德の内容との関連を踏まえ、情報モラルに関する指導に留意すること」と記述して、情報モラル教育の道德の中への位置づけも明確にしている。

さらに、「教育の情報化に関する手引」（文部科学省、平成21年3月）では、「第5章 学校における情報モラル教育と家庭・地域との連携」の中で、各教科等における具体的な情報モラル教育の具体例も掲げ、すべての教員がすべての教科等において情報モラル教育を実施していくことを促すとともに、家庭・地域と連携した情報モラル教育の実施を求めている。

(2) 文部科学省国立教育政策研究所による、各教科等における情報モラル教育の内容提示

上記の通り、新学習指導要領は「全ての教科等における全ての教員による情報モラル教育」の実施を求めているが、それだけでは、これまで大部分の教員が情報モラル教育を行った経験がないことを考えると、情

報モラル教育の理念・理論と、どの教科等でどのように情報モラル教育を行ったらよいのかを適切に理解し、具体的に実践していくことが極めて困難であることが容易に想像できる。

そこで、各教科調査官で構成されている文部科学省国立教育政策研究所では、藤村を主査とし「情報モラル教育に関する調査研究企画委員会」を立ち上げ、委員と各教科調査官により、「情報モラル教育入門ハンドブック」を作成した。その中では、情報モラル教育の理念・理論、各学校でカリキュラムに情報モラル教育を組み込むための「情報モラル指導カリキュラムチェックリスト」、各教科等で義務づけられた指導内容を明示した「学習指導要領及びその解説における情報モラルに関する記載箇所」、「情報モラル教育指導例」が示された。しかも、同ハンドブックは、従来各学校1冊のみ配布され一般教員が目にする事ができなかった多くの文部科学省の指導資料と異なり、すべての教員が目にする事ができるよう、すべての小・中学校で各学年1冊＋αで配布される。

2. 「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」検討委員会の活動

C E Cでは、上記の「全ての教科等における全ての教員による情報モラル教育」と、「学校・家庭・地域が連携した情報モラル教育」を支援するため、2008年度からJ K A（旧日本自転車振興会）補助事業として、「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」事業を始め、本年はその3年目に当たる。平成2010年度は、「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」検討委員会委員を全国に派遣してセミナーを実施すると共に、



●学習指導要領及びその解説における情報モラルに関する記載箇所

※学域、分野、校種、学年、コード等は、「情報モラル指導カリキュラムチェックリスト」に準ずる。

学域	分野	校種	学年	コード	主 要 教 科 等 名	
					A：学習指導要領に記載されている教科等があるもの	B：学習指導要領の解説に示されるなど、当該教科等で指導する教科等があるもの
心を磨く領域	情報社会の倫理	小	低	a1-1	道徳：内容 4-(1)	
			中	a2-1		国語：内容 A-(1)イ、ウ 内容 B-(1)7 道徳：内容 2-(2)
			高	a3-1	社会：〔5〕 [※] 内容 (4)-7 家庭：内容 D-(2) 総合：指導計画の作成と内容の取扱い 2-(7)	総合 [※] ：指導計画の作成と内容の取扱い 2-(7)
			中	a4-1	社会：〔公民的分野〕 [※] 内容 (1)-7、指導計画の作成と内容の取扱い 2-(7) 保健 [※] ：〔1〕-3〔体育分野〕内容 2A～G 各 (2) 技術・家庭：〔技術分野〕内容 D-(1)イ	保健 [※] ：〔1〕-3〔体育分野〕学習指導要領解説 内容の取扱い (3) 技術・家庭：〔技術分野〕内容 D-(2)イ 特活：〔学級活動〕内容 (2)-7
			低	b1-1		国語：内容 B-(1)1
			中	b2-1		総合：指導計画の作成と内容の取扱い 2-(7)
			小	b3-1		国語：内容 C-(3) 道徳：内容 4-(1) 総合：指導計画の作成と内容の取扱い 2-(7)
			中	b4-1	社会：〔公民的分野〕内容 (3)-7 美術：指導計画の作成と内容の取扱い 2-(5) 技術・家庭：〔技術分野〕内容 D-(1)イ	技術・家庭：〔技術分野〕内容 D-(2)イ
			高	b4-2	国語：〔1〕内容 C-(1)イ、〔3〕内容 B-(1)イ 音楽：指導計画の作成と内容の取扱い 2-(7)イ 美術：指導計画の作成と内容の取扱い 2-(5) 技術・家庭：〔技術分野〕内容 D-(1)イ	国語：〔1〕内容 C-(2)イ 技術・家庭：〔技術分野〕内容 D-(2)イ

図1 『情報モラル教育入門ハンドブック』と「学習指導要領及びその解説における情報モラルに関する記述箇所」

2つのワーキンググループを設置して、教材開発を行った。

(1) 全国15カ所でのセミナー実施

2010年度は、前述の検討委員会委員を講師として無償で派遣し、児童・生徒を対象とした情報モラルセミナー（授業）と、保護者・教員を対象とした情報モラルセミナー（ワークショップ、講演等）をセットで行う「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」を、全国15カ所で行った。



図2 保護者用テキスト

これらのセミナーは、各学校・地域では、従来の「学校中心の情報モラル教育」から「学校・家庭・地域が連携した情報モラル教育」への転換を図るきっかけとなっている。この際、児童・生徒用（20ページ構成）と保護者用（児童生徒用との合本・32ページ構成）の2種類のテキストを配布し、活用している。なお、このテキストは、C E Cのホームページからダウンロードすることもできる。なお、情報モラル教育セミナー講師養成のための「ネット社会歩き方セミナー」の平成23年度申し込みは、各都道府県・指定都市、中核市教育委員会から2011年3月25日必着で受付中である。

(2) 2つのワーキンググループの設置

2つのワーキンググループのうち、一つは、児童・生徒向け、保護者・教員向け情報モラルセミナーの講師を、各学校の先生方が務め、実践を広げることができるようにするPowerPointによる「指導者用教材」を開発した「指導者用教材ワーキンググループ」、もう一つは、先生方が実際に指導する際に使用できるアニメーション教材を開発した「Web教材ワーキンググループ」である。それぞれの活動については、後述する。

3. 「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」指導者用教材の開発

新学習指導要領に示された「全ての教科等における全ての教員による情報モラル教育」の実施を支援するため、情報モラル教育に関する地域研修会・校内研修会、保護者向け研修会の講師養成と、児童・生徒に対する情報モラル授業の実施が可能となるように、新学習指導要領等と「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」テキストに準拠したPowerPointスライド教材を開発した。児童・生徒用教材は、難しい言葉の読み仮名を示しわかりやすくした「小学校児童用教材」と、携帯電話所持・トラブル頻発など

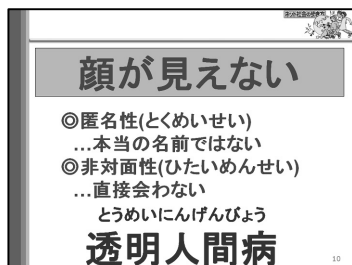


図3 小学校児童用教材

の実態も踏まえた「中学校・高等学校生徒用教材」の2種類を用意した。保護者用・教師用教材は、発達と実態の違いを踏まえた「小学校保護者・教師用教材」と「中学校・高等学校保護者・教師用教材」の2種類を用意した。

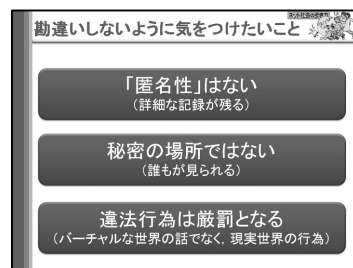


図4 中・高生徒用教材

いずれも、読み上げ原稿を添え、高度な専門知識がなくても研修会講師を務めることができるようにした。

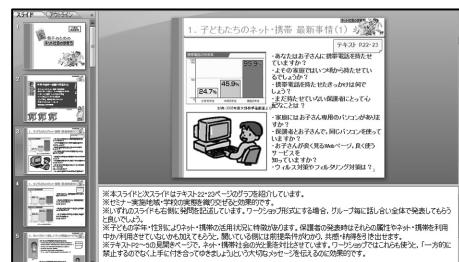


図5 読み上げ原稿付き小学校保護者・教師用教材

また、それを有効活用するための発表者ツールと2画面機能の設定の仕方、テキストの部分拡大表示をするためのフリーソフトZoom Itの活用の仕方などに関するスライドショーも用意した。

4. 「ネット社会の歩き方」教材の全面改訂

日本で最も活用されている情報モラル教育Web教材の一つ「ネット社会の歩き方」の全面改訂（アニメーションは全て新作）を行った。最近の学校情報環境に合わせ大画面・高画質化すると共に、出会い系サイトによって被害が増大しているなどの最新状況に合わせ10教材を新作し、各教科等での実施を強く意識して教材改訂作業を行った。また、新学習指導要領、『情報モラル入門ハンドブック』に対応し、従来の内容別インデックスに加え、学校種・教科等別インデックス等も加えて、「全ての教科等における全ての教員による情報モラル教育」の実施を支援できるようになっている。先生方の積極的活用を期待している。



図6 「ネット社会の歩き方」教材